

## 冬休みの目標： 考えて過ごす冬休み

- 1 明るい家庭づくり，明るい地域づくりの活動に積極的に参加しよう。
- 2 冬休みの目標を立て，規則正しい生活をしよう。
- 3 長期休暇でなければできない学習（弱点補強等），読書，教育放送の利用などに進んで取り組もう。
- 4 健康・安全に留意し，体力増強に努めよう。

冬休みは，この1年を振り返り，新しい年の希望や目標を考えるのによいときです。また，年末年始は，行事も多く生活も不規則になりがちです。次の諸注意をよく守り，安全で規律ある生活を送りましょう。

### 規律ある生活

- 1 日課表を作り，規律ある生活をしよう。
    - ア 早寝，早起きを励行しよう。
    - イ テレビは，番組を選び計画的に視聴しよう。
  - 2 部活動にすすんで参加をしよう。
  - 3 お年玉・小遣いなどの使い方を工夫し，無駄遣いをしないようにしよう。
  - 4 外出する時は，保護者に行き先と帰宅時間を告げよう。
    - ア 身なりに気をつけよう。
    - イ 目的のない外出や，夜間の外出，外泊はやめよう。
    - ウ 他団体が主催する行事（スキー，スケートなど）への参加は，家族とよく相談をし，事前に学校に届けを提出しよう。
    - エ 映画・釣り・スケートは保護者の許可を得て，次のことに気をつけて出かけよう。
      - ・中学生らしい服装で出かける。
      - ・日没前には帰宅するようにする。
- オ ゲームセンター，カラオケボックスへ行くときは保護者同伴で出かけよう。**
- カ 危険な遊びや人に迷惑をかける遊びはしない。  
（小学校や保育園などの施設では，無断で遊ばない。）





## 親から子へ・二十四の『ありがとう』

◇ あなたが生まれて十数年、私には夢のような時間でした。

『ありがとう』を言います。

- ♥ 学校行事や部活の大会を「見に来て」と声をかけてくれたこと
- ♥ 食事の時会話があること
- ♥ 祖父母に優しい気持ちを持って行動した
- ♥ 学校を休まないこと
- ♥ 3回も転勤したのに不平不満を言わずその土地にも慣れてくれたこと
- ♥ 「一家団欒が家にはあるね」という子どもの言葉

◇ 親として、一人の人間として、私はあなたを見てきました。

私の子どもでいてくれて『ありがとう』

- ♥ 中学生になり、先生に対して敬語を使って話ができるようになったこと
- ♥ 仕事で遅くなったとき、手紙(ゆっくり休んでください)と寝具が用意してあったこと
- ♥ 部活の試合の応援に行ったとき、見たことのない一所懸命さを感じた
- ♥ 仕事で忙しいとき「お疲れ様」と言われたとき
- ♥ ささいなことに「ありがとう」と言えること
- ♥ 素直に育っていてくれること
- ♥ 明るく元気に学校へ行くこと
- ♥ 体調が悪いときなど気づかって家事などをしてくれること

◇ いつまでも私の子どもでいて下さい。

- ♥ 自分の思っていることや感動したことを素直に話してくれたこと
- ♥ 夫婦喧嘩をしたとき、父の立場、母の立場を考え助言してくれたこと
- ♥ 片親でも、素直に育っていること
- ♥ 体に障害のあるいとこに優しく接してくれたこと
- ♥ 兄弟のことを心配して相談してくれたこと
- ♥ お守りを手作りして、旅行カバンの上に置いてあったこと
- ♥ 留守番を頼んだとき、言いつけておいた以上に気の付いたことをやってくれていたこと
- ♥ 自分を守ってくれているといつも感じる
- ♥ 将来、親を楽にしてあげたいと言ってくれたこと
- ♥ 「お父さんとお母さんの子でよかった」という言葉

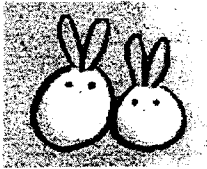
♪ 言葉だけではない親と子の『ありがとう』が伝わってきます。

『ありがとう』のメッセージは、聞くものばかりでなく、心で感じるものなのですね。これからも大切にしていきたいと思います。

伝えよう あなたの思い 子どもらに



いきいきあいちっ子キャンペーン



## 親から子へ、子から親へ 本音で語る『ありがとう』

本稿は、尾北地区地域連携生徒指導推進事業で行った家族アンケートの回答をもとに作成されています。親と子、心の中にある本当の気持ちがここにあります。

### 子から親へ・二十四の『ありがとう』

- ◇ 親と子、最初の出会いにも『ありがとう』がありました。
  - ♥ 生んでくれて、育ててくれたこと
  - ♥ いい名前を付けてくれたこと
  
- ◇ これまで私の親でいてくれたことに『ありがとう』を言います。
  - ♥ いけないことはダメと教えてくれたこと
  - ♥ ほめてくれたこと
  - ♥ 夜遅く帰宅したときに、本気になって心配し叱ってくれたこと
  - ♥ 進路の選択にあたり、一緒に考えてくれたこと
  - ♥ 親に相談して良い結果が得られたこと
  - ♥ 友達関係でもめたとき、両親が、何があっても味方だと言ってくれたこと
  - ♥ 誕生日に好きな食事を作ってくれたこと
  - ♥ 朝早いのに、弁当を作ってくれたこと
  - ♥ 授業参観や部活動の大会に毎回来てくれること
  - ♥ 様子が変わったことに気づいてくれたこと
  - ♥ 夜遅く勉強していても寝ずに起きていてくれたこと
  
- ◇ これからも、ずっと私の親でいて下さい。  
『ありがとう』を言い続けたいから。
  - ♥ 中学でいじめに遭って、生きていく自信をなくしたときに支えてくれたこと
  - ♥ 自分のために泣いてくれること
  - ♥ 風邪を引いて寝ていたとき、仕事に何度か来てくれたこと
  - ♥ 悔しかったことを話したら、受け止めてくれたこと
  - ♥ 何もかも投げ出したくなったとき、優しく慰めずに叱って背中を押してくれたこと
  - ♥ 毎日の生活を普通でいられること
  - ♥ 仕事を手伝わせてくれること
  - ♥ たくさんあって思い出せない
  - ♥ 自分のことを真剣に考えてくれたこと
  - ♥ 自分のことを信用してくれていること
  - ♥ 父親が、自分が産まれたときが今までで一番嬉しかったという話を母親から聞いたとき

Child Raising

## 非行防止

\* 危険な遊びや法に触れる行為は絶対にしない。

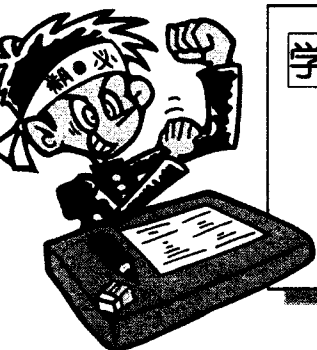
- 1 万引き、自転車等の窃盗、喫煙、飲酒、シンナー等の吸引などは絶対にしない。
- 2 お金の貸し借りはしない。
- 3 生徒だけのパーティー(クリスマス会)はしない。**
- 4 知らない人の誘いや悪い遊びへの誘いにはのらない。
- 5 電線近くでのたこあげや、子どもだけの焚き火・火遊びはしない。



## 交通安全

\* 愛知県下 交通事故急増中

- 1 休暇中の登下校も決められた通学路を通る。
- 2 踏切や道路の横断には特に注意をしよう。また横断歩道をわたろう。
- 3 車の直前、直後の横断や道路への飛び出しをしはしない。
- 4 自転車での二人乗りや夜間での無灯火走行はしない。
- 5 オートバイや車など法律上乗ることができないものを運転しない。



## 学 習

- 1 学習計画をたて、必ず実行しよう。
- 2 1・2学期の学習を反省し、特に不得意な学科を復習しよう。
- 3 ウィンターライフや課題を計画的にやろう。
- 4 余暇を利用して読書をしよう。

**助けて!**

## その他

- 1 自己の安全を守るため、次のことに注意しよう。
  - ・不審者を見かけ、身の危険を感じたら近所の家に助けを求めろ。
  - ・外出時、必要に応じて防犯ブザーを携帯する。
- 2 困ったことや悩んでいることは親や先生に相談をし、早く解決しよう。  
※電話での相談もできます。専門の相談員が相談に応じていただけます。



\*ヤングテレホン(愛知県警) Tel (052) 951-7867

\*こころの電話(愛知県教育サービス) Tel (052) 261-9671

\*いじめ相談(愛知県教育委員会) Tel (052) 961-0900

\*思春期保健相談(愛知県医師会) Tel (052) 251-4188

\*こころの電話扶桑 Tel (0120) -464-783

★事故や被害にあった時、家族に異変があった時はすぐに学校に連絡をしよう。

学校の電話番号 **93-6452**